



産学連携分科会 活動報告(2003年度)

2004年 3月13日(土)

産学連携分科会活動結果

産学連携分科会2003年度の活動テーマ一覧です。分科会活動とともに、メーリングリストにおいてもディスカッションを続けてきました。

- 4月 : 今年度の活動計画について
- 6月 : クラスタ
- 7月 : MOT (技術経営)
 - ゲスト講師 明星大学 田路先生
MIT MOT卒業生 永山様
- 9月 : 大学発ベンチャー (前編)
- 12月 : 大学発ベンチャー (後編)
- 1月 : インターンシップ
- 2月 : 企業と大学の共同研究
 - ゲスト講師 東京大学先端 特任研究員 上條様

● 産学連携分科会メーリングリスト

オーナーのメールアドレス(窓口) : owner-smips_sangaku@freeml.com

サブプロジェクト一覧

メーリングリストでの意見交換を中心に、3つのサブプロジェクト活動を開始、推進してきました。サブプロジェクト名とメーリングリスト紹介URL一覧です。

- スピンオフ勉強会

http://groups.yahoo.co.jp/group/Spinoff_sangaku/

- クラスタ勉強会

<http://groups.yahoo.co.jp/group/cluster2003/>

- MOT勉強会

http://groups.yahoo.co.jp/group/MOT_sangaku/

来年度の活動予定(案)

あるべき姿を求めて(あるべき姿策定のため)の日本国内外の産学連携モデル研究を予定しています。

● 内容

- 事例を検証し、成功要因を抽出する
- 可能な場合は、成功要因抽出に仮説検証アプローチを用いる
- そして、日本において成功要因の一般化は可能かどうかを探る

● 背景

- 分科会1年目は、「未来予想的シナリオ作り」がアウトプットであった
- 2年目は、MOTなどの人材育成について、大学発ベンチャー、クラスターなど具体的なテーマについてディスカッションを通じて理解を深めた
- 3年目の活動案として、シナリオやディスカッションでの知識を発展活用しながら、仮説検証型にて事例を検証し産学連携のあるべき姿を策定することを予定しています

● 産学連携モデル研究の進め方

(1) 日本の事例研究

- 内容:地域別の事例を研究し、産学連携モデルの成功要因の差異、類似点を抽出する
- 方法:発表論文、書籍を用いての研究、スピーチ・講演
- 成功要因のExample(仮説):潤沢な資金(支援策も含む)、人材(経営人材と支援者、インフルエンサーの存在)、スピンオフベンチャーの存在、地域政策と地域在住者との活発な協働、など

(2) 海外の事例研究

- 内容:USA、EU、アジアなどの国や地域別で事例を研究し、成功要因の差異、類似点を抽出する
- 方法:発表論文、書籍を用いての研究